

別記 6 号様式（第 9 関係）

被害防止計画目標評価報告書

1. 対象地域及び実施期間

対象地域	長門市内
実施期間	平成 26 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

2. 被害防止計画目標の達成状況

被害防止計画目標	基準年（年度）の実績値（A）	目標値（B）	目標年（年度）の実績値（C）	達成率（%） $A - C / A - B$	備考 （単位）
イノシシ	24,007	18,000	30,345	0	千円
	23	20	26	0	ha
シカ	14,814	6,000	20,047	0	千円
	10	4	14 23.5	0	ha kg
サル	3,434	1,000	7,254	0	千円
	3	2	4 92	0	ha kg
合計	42,255	25,000	57,646	0	千円
	36	26	44 115.5	0	Ha kg

3. 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業内容	事業量	管理主体	供用開始日	事業効果
（整備事業） 鳥獣害防止 施設	電気柵 4,140m	山崎電牧協 議会	H26. 8. 7	受益農家が 3 戸以上 であることが採択 要件としてあるた め、地域として一体 的に取り組むこと ができ、被害防止効 果も期待できる。 さらに防護柵を利 用した捕獲により 効果的な捕獲につ ながった。
	電気柵 984m	桃田電柵協 議会	H26. 8. 1	
	ワイヤーメッシュ 3,500m	法人泉川	H27. 3. 19	
	電気柵 6,715m	三ヶ村	H27. 3. 19	
	フェンス 730m	正ノ田溜池 水利組合	H27. 3. 19	
	ワイヤーメッシュ 2,750m	道手鳥獣害 防止協議会	H28. 12. 1	

(推進事業) 生息環境管理	サル接近警報 システム 1 基	亀田自治会	H27. 1. 19	地域ぐるみでの追い払い活動の一助として導入し、地域の被害防止に係る意識の向上につながった。
緊急捕獲活動	シカ 293 頭 イノシシ 607 頭 サル 23 頭	全域	H26	捕獲隊による組織的に捕獲活動を実施することにより被害の拡大防止につながった。
	シカ 377 頭 イノシシ 539 頭 サル 4 頭		H27	
	シカ 386 頭 イノシシ 577 頭 サル 10 頭		H28	

4. 総合評価

(コメント) 平成 26 年度に被害防止計画を見直し、平成 28 年度を目標に設定した数値の達成を目指した。 イノシシ、シカ、サルともに、被害金額、被害面積ともに増加している。個体数の増加及び生息地域の拡大が原因と考えられる。 捕獲数については、イノシシ、サルは減少傾向、シカは横ばいとなっており、捕獲隊の高齢化が原因と考えられる。新たな担い手確保のための捕獲従事者の支援を継続し、担い手の確保に努めていきたい。また鳥獣害防止施設の更なる導入及び鳥獣害防止施設と連携した捕獲体制の強化に努めていきたい。

5. 第三者の意見

(コメント) 捕獲活動や侵入防止柵の設置に取り組んでいるが、緩衝帯野整備やイノシシのエサの供給源となる竹林の伐採等も取り入れ、総合的に対策を進めていく必要がある。

- (注) 1 被害防止計画目標の達成状況が低調である場合は、改善計画を作成し、知事に提出すること。
- 2 3 の事業効果には、事業の実施により発現した効果を幅広く記入すること。
なお、処理加工施設を整備した場合は、当該施設の利用率も記入すること。
- 3 4 の総合評価のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由も記入すること。